

令和6年度秋田県社会貢献青少年・青少年健全育成功労者表彰 受賞者・受賞団体プロフィール

【社会貢献青少年（団体の部）】

○能代市立第五小学校 運営委員会（能代市）

平成22年の結成以来、校内あいさつ運動や緑の羽根募金と赤い羽根共同募金の推進、プルタブやエコキャップの回収等、ボランティア活動に取り組まれています。

また、プルタブ回収で得た収益で運動器具やマッサージ器を購入し、社会福祉施設へ寄贈する等、自分たちにできる小さな活動が学校や地域、社会のためになるという実感を得ながら、周りへの思いやりの気持ちを持って、主体的に活動されています。

○秋田県立栗田支援学校 地域除雪隊^{さ さ っ と} S A S A T（秋田市）

毎年冬期に、高等部の総合サービス科と普通科環境整備班、農園芸班の生徒が、新屋地区の高齢で除排雪作業を要望している世帯へ訪問し、除排雪作業を行っています。生徒たち1人1人が地域社会の一員として、新屋地域の方々と交流しながら活動されており、作業後、学校あてに感謝の手紙が届くこともあります。

手際よく、「ささっと」、除雪することが活動目標であり、安全かつ効率よく作業するため、生徒同士で考え、協力されている姿は、後輩である小学部生や中学部生にとってのロールモデルにもなっています。

【青少年健全育成功労者（個人の部）】

（敬称略）

○中嶋 俊彦（北秋田市）

平成25年より青少年育成北秋田市民会議運営委員として、平成27年からは同市民会議の会長として、地域でのあいさつ運動や子どもたちの伝承芸能合同発表会の開催等に取り組まれています。

また、平成27年、遺跡を訪れた見学者を案内・紹介する小中高生のガイド組織である「伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド」を立ち上げられ、現在もガイドを担う児童や生徒へ、歴史やガイドとしての心構えに関する指導をされています。

○金谷 正子（能代市）

昭和48年から令和4年の約50年にわたり、能代工業高校（現・能代科学技術高校）バスケット部の下宿生を受け入れる下宿業を営まれていました。

また、能代市連合婦人会員や能代市交通安全母の会会長としても活動され、市内の保育園や幼稚園、子育て家庭へ訪問される等、下宿業と合わせて、幅広く子どもたちと触れ合いながら、活動を続けられてきました。

現在も青少年育成能代市民会議会員として、積極的に青少年の健全育成活動に取り組まれています。

○菊地 義寿 （秋田市）

平成20年度から平成25年度にかけて、秋田市少年指導センター職員として勤務され、秋田市役所を定年退職されて以降は、青少年育成秋田市民会議会員として各事業に尽力されています。また、令和6年からは同市民会議の副会長を務められています。

地域のクリーンアップ活動や啓発チラシの配布等、行事では撮影や記録作業を担当され、会報の作成にも大いに貢献されています。また、秋田県レクリエーション協会の役員でもあり、その豊富な知見を生かして、親子参加型イベントに関する指導にあたられています。

○大澤 一廣 （大仙市）

平成5年に青少年育成太田町民会議の世話人及び幹事に就任されて以降、30年以上の長きにわたって太田地域内における青少年の健全育成活動に取り組まれています。青少年の非行被害防止に関する啓発活動はもちろんのこと、太田東小学校の登下校時における見守り活動や校門前での声掛け運動も実施されていて、地域の交通安全に大いに貢献されています。

また、同校の行事である花壇の苗植え作業にも協力者として参加される等、学校行事のサポートも積極的に行われています。

【青少年健全育成功労者（団体の部）】

○鷹巣地区少年保護育成委員会 （北秋田市）

長年にわたり、朝のあいさつ運動や祭典時の街頭補導等を実施されているほか、青少年の規範意識の醸成を目的とした少年防犯弁論大会の開催や、新入学児童へ防犯ブザーの贈呈を行う等、青少年の非行防止や健全育成活動に尽力されています。

また、コロナ禍で活動が自粛される中での新たな取組として、秋田内陸縦貫鉄道列車内に中吊り防犯広告を提示する等、工夫を凝らしながら、多岐にわたって活動されています。

○能代市東雲地区民生児童委員協議会 （能代市）

地域の小中学校や特別支援学校において、登下校時のあいさつ活動や学校行事へ参加される等、長年にわたって児童・生徒たちとの交流を継続されています。

令和6年7月には、市主催の敬老会が廃止されたことを受け、毎年開催している「高齢者お楽しみ会」の中に「長寿を祝う会」を組み込み、児童たちとの敬老行事を企画、開催されました。喜寿や傘寿、米寿といった節目を迎えた方々を児童たちとお祝いし、年齢の垣根を越えた地域住民の交流機会を提供されています。